

や ま だ ん の
山 田 野

18

独立行政法人
国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963
TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

NEW 外来診療棟をミニリニューアルしました

今年4月に神経内科診療部長が赴任し、神経内科医が二人になりました。神経難病の多い地域でもあり、神経内科外来の充実を図っています。また内科医も一人増え、各診療科の医師と連携し、身体合併症の診断、治療にも今まで以上対応できるようになりました。

もちろん精神科外来、睡眠外来（セカンドオピニオンを含めて）についても現代社会の変化に対応し、より良い診療を目指して努力しています。

このように精神、神経内科、睡眠、内科とそれぞれの診療科が同じ時間帯に診療するため外来診察室が手狭になり外来診療棟の改造を行いました。少しでも外来患者様に迅速に対応できるようになればと思います。

これを機会に、建物環境だけでなく、外来に携わるスタッフ全員が初心にもどり、患者様が安心して気持ちよく診察が受けられるための環境作りを目指していきます。

この地域は富山県の中でも人口あたり高齢者の占める割合が高く、認知症対策が大きな問題となっています。当院の外来初診患者様の圧倒的多数が認知症関連の疾患の方です。

前回の「山田野」でも触れていますが、富山県認知症疾患医療センターの指定に向けて外来に相談室も作り、多職種による準備委員会を立ち上げ、「診断から治療まで」、「医療から福祉まで」、一貫した治療プログラムを実践するためのシステム作りを早急に進めています。

早期発見（本人あるいは家族が早期に気が付く）、早期受診がどの疾患でも大切です。

精神疾患、神経疾患でも同じです。精神、神経症状が病気によって起こっているかどうかを判断し、早期に治療を行うことが心身の健康にはとても重要です。

しかし、当院は“旧来の精神病院”というイメージが強くまだまだ敷居が高いようです。

特に精神疾患については早期に受診される数が少ないのが現状です。

この地域の自殺率が富山県でも高いということで、行政から頼まれ、私も自殺対策や、うつ病について講演しましたが、受診に結びついているかは心もとない限りです。

食べられない、眠れない、気力がわかない、不安が強い、些細なことが気になる、外へ出たくない、誰かに見られている気がする、自分のことを言われているような気がしてつらい……などの症状でご本人あるいはご家族の方が困っている時には相談していただければと思います。

受診したいが、どうしたらよいか分からない、決心がつかない。また、受診させたいが本人が拒否をしているという場合もあるかもしれません。そんな時、当院の地域連携室にご相談ください。受診までの手順をはじめ色々な困りごとについて精神保健福祉士が、医師と連携して、アドバイスをしています。外来に受診しますとその後の流れは他の診療科とそんなに変わりません。まず、必要な検査をします。少し他と違うといえば、診察の前に予診があります。症状や患者様のおかれている状況などについて詳しくお聞きします。身体の病気と違い症状をきちんとみるにはお話を聞いて判断する必要があるからです。その後、医師の診察で診断、治療方法などを確定します。薬物療法以外にも臨床心理士のカウンセリング、デイケア・ディナイトケア、作業療法士による外来作業療法などもあります。また、7月から、訪問看護も始めました。種々の治療法を組み合わせるプログラムを作ります。

地域の方が気軽に訪れ、相談や受診ができる病院でありたいと思っています。

(外来医長 石崎 恵子)

認知症って何？

認知症とは、単なる老化現象でなく、脳の障害により知的能力が低下する病気の総称です。**アルツハイマー型、血管性、レビー小体型、前頭側頭型**など大きく四つの型があり、症状は様々ですが、「もの忘れが続いて日常生活に支障をきたす状態」と言えます。

認知症というと、突然大声を上げたり、暴力をふるったり、深夜に徘徊したりといった問題行動があり、人間性が壊れていく、家族に迷惑をかける、もう治らないといったイメージが強いかもしれませんが、しかし、そういった問題行動は、例外はありますが、一般的にはかなり症状が進行した段階で認められるものです。発症早期の段階では、もの忘れはありますが、非常に穏やかな症状であり、早い段階で適切に対応していれば、急激な進行を防ぐことも可能です。

認知症では、中核症状という必ず現れる症状があり、それはもの忘れなどの記憶障害、判断力の障害、失語などです。中核症状に精神的な不安や混乱、療養環境などさまざまな要因が加わることで引き起こされるのが、暴言・暴力、徘徊といった問題行動で、これを周辺症状といいます。もし、周辺症状があっても、早期に発見して、原因となっている要

因を取り除くことにより、症状を軽減させることができます。

認知症の人は、通帳を置き忘れたり、火を消し忘れたりしたりします。本人に注意しても記憶できないので効果はありません。しかし、家族は、症状の悪化を心配して注意し続け、その結果、これまで良好だった家族関係が険悪になりギスギスしてしまいます。注意された本人は気分が落ち込み、さらに症状が悪化してしまいます。注意したり叱ったりすることは、逆効果となることが多いので違った対応を考える必要があります。

認知症では、記憶ができないことを十分理解した上で、日常生活を見守りながら、忘れても大丈夫なようにサポートする。足の不自由な人や目の不自由な人に手を貸すように、火の不始末を未然に防ぐ方法を工夫し、周囲の誰かが記憶の手を貸してあげればいいのです。想像力を働かせて、自分が認知症だったらどうだろうと考え、認知症の人を一人の人間として尊重することが重要なのです。ケアでは、子供や社員の教育と似たところがあり、悪いところを指摘するより、良いところを褒めるように、周囲が良い対応をすることで認知症を改善する効果もあります。

<4つの認知症のタイプ>

原因や障害される脳の部位が異なり、症状や対応の仕方、治療の方法も異なります。

アルツハイマー型認知症 最も多い認知症	血管性認知症 男性に多く、動脈硬化が関連する	レビー小体型認知症 心臓の検査が診断に有用	前頭側頭型認知症 65歳未満に多い認知症
原因: 脳にアミロイドβタンパクが蓄積することが引き金になると考えられている。(アミロイド仮説)	原因: 脳血管が詰まったり破れたりして、脳の働きが悪くなる。	原因: 脳神経細胞内部にαシヌクレインが蓄積し、後頭葉の働きが悪くなる。	原因: 脳にタウやTDP-43などが蓄積し、前頭葉や側頭葉が萎縮する。
特徴: <ul style="list-style-type: none"> 認知症患者の約半数。 記憶を保持できず、最近のことを忘れる。 もの忘れや妄想が多い。 比較的緩やかに進行する。 本人は、楽観的で病気であることをあまり気にしない。 治療薬がある。 女性に多い。 	特徴: <ul style="list-style-type: none"> 感情のコントロールができず、悲しくないのに泣いたりする。 まだら認知症で、脳血管障害に伴い段階的に進行する。 意欲の低下や無関心がみられる。 尿失禁や運動機能低下を認める。 飲み込みがうまくできず、むせやすい。 	特徴: <ul style="list-style-type: none"> 歩行が小刻みでよく転ぶ。生々しい幻覚を訴える。 睡眠中に大声で寝言を言う。 薬が効きすぎて副作用が出やすい。 初期にはうつ病と診断されることもある。 立ちくらみ便秘など自律神経障害を伴う。 	特徴: <ul style="list-style-type: none"> 同じ行為を繰り返したり、気持ちの赴くままの行動をする。 目の前の人の仕草を真似る。 過食や甘いもの好きになるなど食行動が変わる。 自分が病気という自覚は少ない。 盗み食いや万引きなど反社会的な行動がみられる。 意欲の低下や無関心を認める。

職場紹介のページ

【訪問看護】

北陸病院で「訪問看護」を実施していることをご存じですか？病院を退院された後、あるいは外来通院をされている方が、家庭や地域で安心して治療を継続し、自立した生活を送る事ができるようスタッフが定期的に訪問

し、相談や必要な支援などを行っています。それぞれの家庭にあった生活方法を、ご本人・ご家族と一緒に考え実践していけるようお手伝いしていきます。

【訪問スタッフ】

看護師2名で伺います。状況に応じて看護師3名やPSW（精神保健福祉士）を含む3名のこともあります。

【訪問回数・時間】

訪問回数は週1回で、月・水・金曜日のいずれかで行います。時間は1回30分～1時間程度で、支援内容やご希望を考慮し決定します。

【訪問範囲】

当院より片道15km圏内（約30分程度の範囲）で実施していますが、これを超える方も相談にのります。

【利用料金】

自立支援医療による公費負担制度が適応となります。（交通費については別料金となります。）

安心を支える訪問看護

病状への
対処方法

身体疾患の
相談

服薬の
方法

家族の
相談

サービスや
福祉制度の
紹介

生活リズムを
整えるための
お手伝い

日常生活の
困りごと

内容に関することや利用のご希望は、主治医・外来師長または地域医療連携室までお問い合わせください。



外来担当医表

項目	月	火	水	木	金	
精神科・神経科（初診）	市川・坂本	坂本・市川	白石・坂本	石崎・村田	細川・白石	
精神科・神経科（再診）	石崎・立脇	白石・常重	村田・林	市川・林	常重・立脇	
神経内科	吉田	小竹	吉田	吉田	小竹	
内科	戸部	渡辺	戸部	荒幡	戸部	
専門外来	睡眠（初診）		古田	古田		
	睡眠（再診）		細川	戸部	古田	
	もの忘れ	●受付時間・・・8:30～11:30 ①診察は全て事前予約制となっています。地域医療連携室にご相談ください。 ②睡眠外来ではセカンドオピニオンも実施しています。（水曜日午後） 【地域医療連携室 直通電話】0763-62-1950				
	パーキンソン病					
	物質使用障害					
重症心身障害						

盆踊り大会

8月24日に院内合同行事の盆踊り大会を開催しました。患者様も職員も皆さん練習の成果をしっかりと発揮して、上手に踊っていました。



暑かった夏の名残りを惜しむように、熱気あふれる盆踊りとなり、大いに盛り上がりました。

ご協力くださったボランティアの皆様に御礼申し上げます。

（副総看護師長 平野 哲則）



【交通アクセス】

◆交通機関

JR城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

◆南砺市コミュニティバス

JR城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】石崎・上野・前田